

開催地名	奈良県生駒市
開催日時	令和5年10月4日(水) 14:00～15:30
開催場所	生駒セイセイビル4階
語り部	大内 幸子 (宮城県仙台市)
参加者	市防災安全課、地域住民、関係機関 23名
開催経緯	南海トラフ地震が発生した際には、当市においても甚大な被害が予想されていますが、自主防災組織はほとんどが男性役員で構成されていて、女性の姿が少なく、女性の声が届いていないことが課題です。そこで、様々な災害の対応経験を基に、応急、復旧、復興等の災害後の段階ごとに男女共同参画の視点から成すべき対策・対応について学んでいただきたく開催しました。
内容	<p>(1) 3.11 (東日本大震災発生) の1日の動きと、避難所の状況</p> <p>2011年3月11日、あの未曾有の大震災「東日本大震災」が発生。</p> <p>私の住んでいる福住町は、七北田川が側にあり、海から6キロ離れている場所に位置している。6キロ離れている町にも津波が海沿いの家の瓦礫とともに七北田川から溯上してきた。</p> <p>福住町では2003年から自主防災組織を立ち上げ、重要支援者の名簿作成や、訓練等を進めてきたことから、地震発生後、すぐに安否確認が可能であった。まず重要支援者の安否確認をし、それから被害状況の確認、避難誘導を実施した。私は町に小学生の姿がなかったため高砂小学校へ駆けつけた。小学生は帰宅前だったため、学校の頑丈な建物の中で待機していた。</p> <p>その後、高砂小学校避難所に避難所を開設。炊き出しの準備や災害対策本部の立ち上げを行った。仙台駅の構内も、地震により被害が発生し、電車を利用し、帰宅しようとした人々が駅構内から締め出されていたため、帰宅困難者も含め2,000名近い避難者が避難所に押し寄せた。当時の避難所運営は男性がほとんど担っていた。避難所運営委員に女性が含まれていなかったため、乳幼児のミルク用のお湯や女子更衣室に気配りがかかっていた。</p> <p>仮設トイレが外にあり且つ和式であったため、利用を控える高齢者もあり、体調を崩した方もいた。</p> <p>避難所の小学校では、震災翌日が卒業式の予定だった。小学6年生をなんとか卒業式で送り出したい学校の教員、避難者、地域の役員で避難所の体育館で手作りの卒業式を3月18日に執り行った。</p> <p>(2) 災害時の自助・共助の重要性</p> <p>災害の規模が大きければ大きいほど一般市民だけでなく公助も一緒に被災してしまうので、公助がくる間にどうするか、お互いに自助、共助の取り組みが重要である。私たちの集会場は訓練をしていたので取り組みが早かった。隣近所が助け合い、皆が協力して乗り越えた。普段訓練してないことはなにも出来ないと思った。</p> <p>(3) 男女共同参画、多様性と防災</p> <p>令和2年5月、内閣府男女共同参画局よりの防災・復興ガイドラインが発行された。人口の半分は女性であり女性と男性が災害から受ける影響の違いなどがある為、女性の視点に立った防災・減災が必要であるため作成に至った。</p> <p>震災後、芽生えた考えとしては、「過去の災害を伝えることは人の命を守ることに繋がる」「災害時に専門的な知識がないと、いざという時に行動が出来ない」という思い</p>

であった。その後、女性のための防災リーダー養成講座を受講し、仙台市地域防災リーダー（SBL）に認定され、仙台女性防災リーダーネットワークの立ち上げを行った。

その際、外国籍の防災リーダーなど多様な視点で取り組む防災・減災も必要であると考へた。併せて、高齢者・子供などのいわゆる災害弱者の方への気配りと支援も同時に重要である。仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成を通して、多様性や地域防災力の強化を図っている。

（４）福住町の防災・減災の取り組み

昭和 61 年の豪雨災害など数々の災害を通して、数々の災害から自分たちの町は自分たちで守る取り組みをしている。多くの水害と地震に見舞われてきたこの経験が、「福住町方式」を生み出す。ボランティア活動や夏祭り、イベントなどで住民のコミュニケーションの構築し、「自分たちの町は自分たちで守る」をモットーに、16 年前から消防署の指導ではなく、福住町独自に企画と運営、減災に力を入れている「全員参加型」を目指す防災訓練をしている。

最後に、世界で起きている自然災害の約 1 割が日本で起きているというデータがある。災害リスクは日本全国どこでもあることを認識すべきである。

そして、行政になるべく頼らない地域力を高め、持続可能な防災・減災の取り組みを継続することで、役に立つときが必ずくるはずである。一人一人が身近なところから出来ることから始めて欲しい。



開催地より

東日本大震災の体験談や教訓についてわかりやすくお話しいただきました。災害に対する準備の重要性や自治会での様々な工夫について認識を深めることができました。今後の防災活動で参考にしていきたいと思います。